

日本シンクロチャレンジカップ2014  
ハイライトルーティンに関する確認事項

日本シンクロチャレンジカップ2014におけるハイライトルーティン競技は、以下の要領で行う。

### 1. 出場資格

ハイライトルーティンは各都道府県予選を経なくても出場できる。

\*各都道府県予選に出場していなくとも以下の資格を満たしていれば出場できる。

- 選手は(公財)日本水泳連盟競技者登録(2014年度)完了者で中学生以上であること。
- 選手が所属する団体(クラブ)も同様に団体登録が完了していること。
- シンクロバッジテスト、ステージ6以上を取得している者。

### 2. 競技規則

【SS4.5, SS13.3】 人数：8-10名+補欠最大2名 人数減点なし

【SS14.1】 制限時間：2分30秒±15秒(陸上動作10秒内)

【SS17】 審判方法はフリールーティンと同じ

#### 【別表7】規定要素

##### 一般規定

- ・ 追加の内容を加えてもよい
- ・ 制限時間はSS14.1の通り
- ・ 規定要素はどの順序で実施してもよい

##### 規定要素

- #1 少なくとも4つのアクロバティック動作
- #2 1つのコネクティッド、または1つのインタートゥワインドアクション
- #3 1つのカレイドスコープ効果のフロート

### 3. 規定要素の解釈について

規定要素は全員が行うこと。関わっていない選手がいた場合、その選手は規定要素を実施しなかったと判断される。

#### #1 少なくとも4つのアクロバティック動作

- ・ アクロバティック動作はジャンプ、スロー、リフト、スタック、プラットフォームなどの総称。
- ・ 4つとも全員が関わる。
- ・ 4つはどんな種類でもよい。
- ・ 同時実施の複数(4組や2組など)のアクロバティック動作は可。ただし、全員がいずれかのアクロバティック動作に関わること。→同時実施の場合、1つのアクロバティック動作と数える。
- ・ 例えば、4組のアクロバティック動作を同時ではなく、時間差で行った場合、これは1

つのアクロバティック動作と換算しない。規定要素以外の追加の動作として判断される。

#### #2 コネクティッド, インタートゥワインドアクション

- ・ コネクティッドアクションとは、選手どうしが結合、接合、連結した動作。
- ・ インタートゥワインドアクションとは、らせん状のねじりやひねりを伴う動き。絡み合う動き。
- ・ 全員が関わる。
- ・ 同時実施で数組に分かれたコネクティッドまたはインタートゥワインドアクションは全員が関わっていると判定できるので可。

#### #3 カレイドスコープ効果のフロート

- ・ フロートとは、水面に、身体の一部または全部を用いて描くフォーメーションやパターンのこと。
- ・ 全員が関わる。
- ・ パターンチェンジは必須ではないが少なくともフロートの形を変化させること。

### 4. 規定要素に関する減点（ペナルティ）について

【SS18.5】各規定要素の1つを省略したとき、ルーティン得点より2点を減ずる。

#### 〈解釈〉

以下は「FINAシンクロコーチ・ジャッジ・レフリーマニュアル2013-2017」に掲載されている英文である。

「In the Highlight routine there are three Required Elements. The first Element consists of four acrobatic movements. If one, two, three or four acrobatic movements are missing, one 2 point penalty will be given because the Element has not been performed as described.」

《和訳》ハイライトルーティンには3つの規定要素がある。1つ目のエレメントは、4つのアクロバティック動作で構成される。4つのアクロバティック動作のうち、1つ、2つ、3つ、もしくは4つを実施しなかったとき、2点減点。理由は、ルール通りに実施されなかったため。

#### 〈ペナルティの例〉

- ・ アクロバティック動作が3つしか行われなかったときも、2つしか行われなかったときも、1つしか行われなかったときも、全く行われなかったときも、減点は2点。
- ・ 例1 エレメント#3 カレイドスコープフロートが正しくなされなかったとき →2点減点
- ・ 例2 エレメント#2 インタートゥワインドアクションが正しくなされなかったとき →2点減点
- ・ 例3 例1と例2が両方起きた場合 →2点×2=4点減点
- ・ ハイライトのエレメントに関する減点は最大6点。

\*規定要素以外のペナルティ（制限時間の逸脱や水底の使用など）はルーティンのペナルティと同様。

以上